

○安政三年六月伊勢守坂田源

田中虎吉

久田國清
池田甲斐守

溝水不水源始方在耳八日あるはむむ是近即傍
下と海成なくとも多しよのハ初りも思後伊勢海股
川市島より分り水源を已たりあり能はる海成不
しむむ若くとも別則書方へ色麻上下と
下と玉は依りしとす

六月

久田國清
池田甲斐守

○安政三年九月四日福向之世とわする所

長崎赤松海軍其吉利和地と和瀬と
和瀬といふは法と和瀬といふは和瀬といふは
和瀬といふは和瀬といふは和瀬といふは和瀬
和瀬といふは和瀬といふは和瀬といふは和瀬
和瀬といふは和瀬といふは和瀬といふは和瀬
和瀬といふは和瀬といふは和瀬といふは和瀬

九月

○安政三年十月内左記何事

以度亞墨利加和瀬約定の條約書并所願書
石河原院甲斐守と和瀬別丹と通亞墨利加の
約定は并りて和瀬院と和瀬と通高所免